

令和8年1月15日の給食

11 和食文化を
伝えよう



小正月

元日を含む、年神様を迎える行事の『大正月』
に対して、1月15日、または15日前後の数日間
のことを『小正月』と呼びます。

そう呼ばれるようになったのは、日本の暦の
歴史と深い関係があります。

★ チンゲン菜のからしあえ

☺ 八王子産にんじん使用

★ 牛乳

★ 松風焼き

☺ 八王子産ながねぎ使用

★ けんちん汁

☺ 八王子産にんじん、
ながねぎ、だいこん使用

★ 小豆ごはん

小正月って
知ってるか？

オイラ、まだ
食べたこと
ない・・・

授業で
説明しなきゃ

そいや、食べ物と
関係するじゃんか
あるけど...

むかし、
日本のお正月は、
新年最初の満月
の日でした。

満月には、
神秘的な力が
あると考えられて
いたからです。

のちに、大陸（中国）から
太陰太陽暦（旧暦）が伝わ
ると、新年最初の満月の日
は、一月十五日でした。

太陰太陽暦（旧暦）は、
新月の日をその月の一日
（ついたち）とするもの
だったからです。

22日 下弦の月
（かげんのつき）

1日（ついたち）
新月（しんげつ）

3日
三日月
（みかづき）

7日 上弦の月
（じょうげん
のつき）

15日 満月
（まんげつ）

暦が旧暦となった

ことにより、お正月の

お祝いは、一月十五日にする

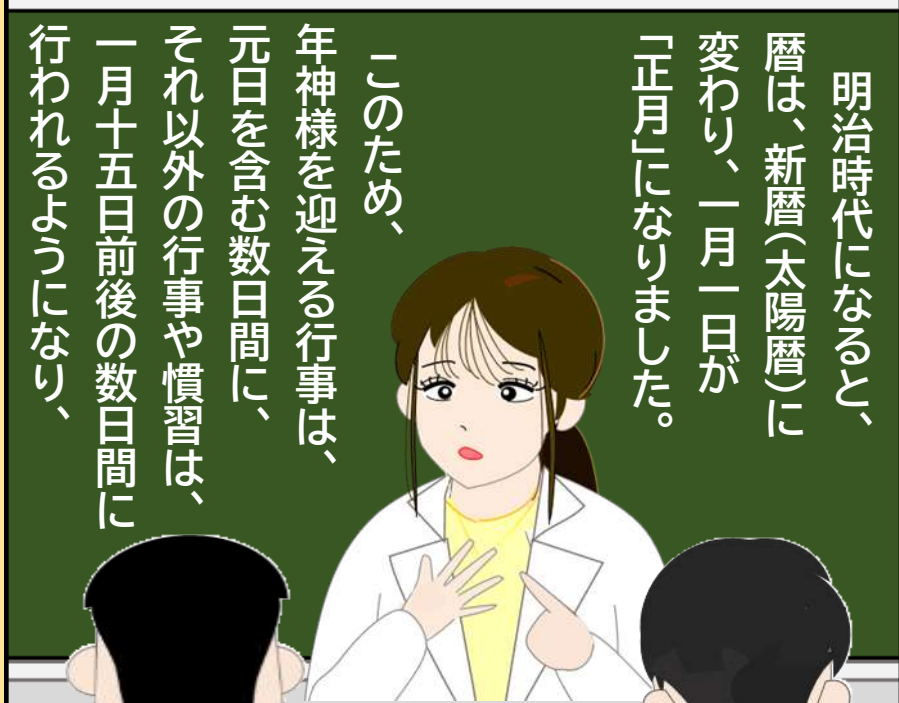
ことになりました。

ところが・・・

明治時代になると、
暦は、新暦（太陽暦）に
変わり、一月一日が
「正月」になりました。

このため、
年神様を迎える行事は、
元日を含む数日間に、
それ以外の行事や慣習は、
一月十五日前後の数日間に
行われるようになります。

元日を含む数日間を「大正月」、
一月十五日前後を「小正月」と
呼ぶようになったのです。



小正月には、
「繭玉飾り」、「餅花飾り」や
「どんど焼き」などが、
行われます。

これらの伝統行事や
慣習は、お正月に
その年の豊作や 給食は 残さず 食べよう！
家内安全を祈願する
ものでした。



餅花飾りは、柳などの枝に
小さく丸めた餅やだんごを
刺したものを飾ります。
八王子では、まゆの形に
似た「まゆ玉」という団子を
作って飾り、どんど焼きの時
に食べます。

ふうん．．

これには、
そんな意味が
あったんだ

なるほど

小正月の朝には、
小豆と米を焚き込んだ
「小豆粥」を食べる
風習があります。

赤い色は、邪気を払うと
信じられていたので、
赤い食材の「小豆」を入れた
「小豆がゆ」を食べて
無病息災を祈るようになった
と言われています。

今日の給食では、
小豆粥ではなく、
小豆ごはんに
しました。

小豆ごはん

